

# Tonomachi Cafe Vol.68

## 神経難病創薬の限界を突破する： ニューロンDDSによる「真の薬剤送達」への挑戦 ～産学の知見を融合し、いかにして死の谷を越えるか～

### 登壇者



#### 湯本 法弘氏

株式会社Jiksak Bioengineering  
取締役 共同経営者 co-CEO CSO

#### 略歴

京都大学大学院医学研究科分子医学専攻修了。博士（医学）。  
2009年より8年間、米国ニューヨーク大学メディカルセンターで研究員として活躍。骨格筋から運動神経に対する「逆行性の前シナプス分化シグナル」の同定に成功し、2012年にNature誌に報告。  
アストラゼネカ社メディカルアフェアーズ部での活動を経て、2018年7月より株式会社Jiksak BioengineeringにCTOとして参画、2021年5月よりco-CEOに就任。神経筋接合部を対象とした創薬事業を中心に活動中。

#### 講演要旨

ALS等の神経難病創薬における最大の障壁は、複雑な中枢神経系への確実な薬剤送達手段の欠如にあります。本講演では、抗体技術で変性神経へピンポイントに薬剤を届ける「ニューロンDDS」を中心に、この課題への挑戦を詳説します。  
サイエンスの観点から「神経回路網を介した輸送」という新視点を加え、いかに真のデリバリーを実現し治療効果を最大化するか、当社の取り組みを議論します。あわせて、深い基礎研究力と訴求力を備えたアカデミアと、迅速な実装力を担うスタートアップが融合する産学連携の重要性についても、現在進行中の事業進捗を交えて触れます。  
最後に、多様なプレイヤーの地理的近接がブレイクスルーを誘発する「エコシステム」の機能について、当事者の実感を共有させていただきます。

### Agenda



講演 16:00-16:45

Q&Aセッション 16:45-17:00

ネットワーキング 17:00-17:30



2026年3月18日(水) 16:00-17:30



LINK-J ラウンジ

〒210-0821川崎市川崎区殿町3-25-10  
Research Gate Building TONOMACHI  
(RGB II)1階

[Register Now](#)



定員に達した場合は、受付を終了することがございます。ご了承ください。